

2. 浜松市デジタルを活用したまちづくり推進条例の制定

本条例は令和3年制定の「デジタル社会形成基本法」に基づき、デジタル活用に関する基本原則及び基本的な事項を定めて、市の責務や私たち市民等の役割を明らかにし、**市民生活の質の向上**を図ることなどを目的に制定されました。

岩田の目) 条例には市民の役割は「デジタルを活用したまちづくりの推進について、市と連携し、及び協力するよう努めるものとする」とあります。しかし私たちは現在も市と協力・連携してまちづくりをしている事

から、今回その手法にデジタル化を明記したことに意義があるものと考えます。今回、個人情報保護についても改めて記述してデジタル化に慎重な一部市民の声にも応えています。いずれにせよ条例に示された責務を、市がしっかりと全うし、デジタル活用施策により私たちが身近に進化を実感できる社会にしていく事が重要です。今後の施策にご期待下さい！



3. 浜松地域遺産認定制度

浜松市では平成28年度から国・県・浜松市の指定文化財や国登録文化財という文化財とは別に「緩やかな保護・活用制度」として「浜松地域遺産認定制度」を導入しており、昨年は90件が新たに登録され、**現在 545 件が対象**になっていることが今回の委員会で報告されました。

昨年度の認定物件には、私の地元入野町でも3つの建造物が登録されています。また中には伝統的生活文化として「浜北中瀬の干しいも」なんていうものもありました。

身近にある地域遺産を活用しての「健康ウォーキングイベント」なども企画可能に思いますので今後関係部局に働きかけて参ります。



入野町のこぎり屋根の工場跡

皆さんもこれを機会に、お近くの地域遺産を訪ねてみてはいかがでしょうか？

市HP 浜松地域遺産の一覧表→



4. 行政区再編に関する区名募集

5月17日開催の行財政改革・大都市制度調査特別委員会では、今後3区に集約される新たな区割りのそれぞれの名前の付け方について議論がありました。

実際に決定していくのは特別委員会ではなく、諮問機関「行政区画等審議会」の議論に委ねることになりますが、今まで市当局と議会が二人三脚で議論を行ってきたなか、区名に関する議論も多々あったことから、委員会での議論について当局経由で審議会の皆さまに理解を深めて頂くことが目的です。



市HPより

私たち市民クラブとしては「将来に向け浜松市が輝くイメージ」「一部の地域ではなく、新区域全体を網羅するイメージ」など、選択するルールを明確化したうえで、現在の区名も拒否しないことを提案しましたが、意見交換の後、市当局より「未来志向で現行区名は除いて募集していきたい」旨の意向が示されました。

これに対しては「会派意見をゴリ押しするものではなく各会派提案の良いところ取りをしてもらって、市当局や審議会がやり易いようにして頂きたい」旨の意見をしております。

いずれにせよ**地域にしこりが残らないように進め、素晴らしい名前が付くよう期待したい**と思います。

岩田くにやす プロフィール

- 1990年（平成 2年） 東海大学政治経済学部卒業 現スズキ㈱入社
- 2018年（平成30年） スズキ労連・スズキ労働組合政治顧問
- 2019年（令和 元年） 浜松市議会議員（西区1期/市民クラブ）
行財政改革・大都市制度調査特別委員会 委員（継続中）
環境経済委員会 委員 浜名学園組合議会 議員
入野地区自治会連合会顧問（継続中） ムド・デ・アルグリア校評議員（継続中）
市立入野中学校評議員（継続中） 市立入野小学校評議員
- 2021年（令和 3年） 市民文教委員会 副委員長 浜名湖競艇企業団議会 議員
市立入野小学校学校協議会 委員



最新情報はこちら：<https://www.facebook.com/Iwata.Kuniyasu.su/>